



朝の読書会「AI vs.教科書が読めない子どもたち」感想

平成 30 年 11 月 30 日 指宿高校図書館発行

10/23～11/2 は秋の校内読書旬間でした。朝の読書会では「AI vs.教科書が読めない子どもたち」（新井紀子著）を読み、1・2 年生には感想を書いてもらいました。まとめた感想を読んで、現代の問題と自分の生き方に対しての見方・考え方を広げる助けとしてください。

～読書指導係 国語科 勝田先生より～

今回皆さんに書いてもらった感想を読んでもみると、しっかりと理解して自分なりの意見を持つことができている人も一方で、少し捉え違いをしている人もいましたので触れておこうと思います。ほんの数名ですが、「放射線専門医の仕事がなくなる」と捉えている人がいました。筆者は、放射線専門医の仕事の中でも特に過酷な「画像診断」の仕事が AI に代替されるようになる、と述べており、さらに、この仕事がなくなっても他になすべき仕事はたくさんあるため、むしろ福音(よい知らせ)と言える、とも述べています。放射線専門医の仕事がなくなる、と述べているわけではないのです。

他にもこのような捉え違いをしていた人はいませんか？しっかりと読解できていたでしょうか？読解力は、読書はもちろんですが、日々の授業、そして今日まで受けていたテストなどでも鍛えることができますよ。筆者の新井紀子さんは、「いくつになっても読解力は養える」と述べていました。皆さんはまだ高校生。日々の丁寧な積み重ねのなかで、着実に読解力を身につけていきたいですね。「教科書が読めない子どもたち」にならないために。

◎生徒感想◎

・ AI 技術を発達させるにあたり、人間が職業を失わないように人間と AI 技術の得意分野の住み分けが必要だと思います。ここは、適応力に富む人間が教育の方向性を変えれば良いのかと思いました。得意分野同士で競うのは、無駄だと思います。(1年男子)

・ AI と AI 技術の違いは、今まで知りませんでした。これから無くなるであろう職種がたくさんあることも知りませんでした。私もこれからの将来について真剣に考え始めた頃です。AI に仕事が奪われた後も残っている仕事につけるよう、毎日やるべきことをしっかりとやり、意識していきたいです。(1年男子)

・ 最近、AI という言葉をニュース・新聞・インターネットなどでよく見たり聞いたりすることが多くなり、その中で私は AI に対して少しマイナスイメージを持っていましたが、テキストを読んで、私たちの生活は AI があってこそ成り立つところもあるのだと思い直しました。これからどんどん AI とつき合っていく中で私たちがすべきことを考えてみたいです。(1年女子)





・今までは、AIが人間を超える日は近いと思っていたけど、科学的にはまだ証明されていないことに驚きました。つい数年前まで、AIはSFとか遠い未来の話とされていたのに、もう現実になろうとしていることに、世界の技術の成長のはやさをすごく感じました。将来、自分はAIに負けないぐらいの強みを持つようにならないといけないのだと思いました。自分のいいところを見つけられるように頑張ります。(1年女子)

・人間社会の仕事が全て「AI」に奪われるというのは誤解だということが分かった。しかし、「AI」がした方が効率が良く数年後には仕事を奪われる職種があるのは事実である。そして、「AI」が苦手とされる分野は今の学生たちも苦手な分野であり、「AI」ができない仕事を人間ができるという訳でもない。私たちは私たちにしかできない考え方や行動をもっと鍛えていくべきであると考えます。(1年女子)

・私たちが言っているAIはAIではないということに驚いた。そして、AIが今後、進化し、奪われる仕事もあると言われていて、AIによって奪われないような仕事につきたいと思った。また、3人に1人が簡単な文章が読めないということは、スマホを使ってゲームなどができるようになり、小説などの本を読まないことも原因なのかなと思った。私も、本をしっかり読みたいと思った。(1年女子)

・私は、この本を読んで、考えさせられることが多くありました。特に、読んでからは、自分の将来がとても不安になりましたが、この本を読むことで、これから役立つと思います。10年後20年後に残る仕事、無くなっていく仕事のことも知ることで良かったです。また、AIにはない読解力を養えるように読書をして、文章をたくさん読んでいきたいです。(1年女子)

・言い回しが独特で面白かったです。実用書は読みづらいイメージがあったけど、これを機にいろいろ読んでみようと思います。「そもそもAIはまだ存在していない」ということにとっても驚きました。自分が普段言っている「AI」はそもそもまだないということが信じられなかったです。AI技術とどう闘うかではなく、どう共存していくかということを考えたいです。(1年女子)

・今後AI技術が発達していくことで、人間が現在している仕事は減少していきますが、うまくAIと共存していけるような社会になればいいなと思いました。(1年女子)

・AIは「常識の壁」に阻まれたとあることから、AIにもできないことがあるのだと分かった。表の結果は私たち世代の結果だと思われるので、私は教科書を読んで内容を理解しているのかと自問自答を繰り返した。模試も近いので文章を内容までしっかり読めるように意識したいと思う。(1年男子)





・AIについて、この本を通して、改めて考えさせてもらった。私は、AIとの協働について考えていきたいと思う。だから、この本を通してAIについて考えを深めていきたい。(1年男子)

・私は今まで「AIによって仕事が奪われる」ということを自分のこととして考えたことがなかった。でもこのテキストを読んで自分が将来就きたいと思った仕事もAIによって奪われてしまうかもしれないということを知ることができた。また、AIにはない能力を持っていない若者がいることも知ったので、自分は将来何がしたいのか、何ができるのかをもう一度考えてみようと思った。(1年女子)

・将来、AIが人間の仕事を全て奪ってしまうかもしれないと思っていたので、AIは文章力(コミュニケーション能力)が無いことを知って、とてもほっとした。でも、そうしている間にAIはどんどん進化していくので、今人間が持っている知識をAIにはできないことに使えるように、油断せずにごしていききたい。(1年女子)

・確かに今の子どもは簡単な文章でも、しっかり意味を理解して読むことはできません。ですが、これから先、AIはどんなに進化し続けても人間が持っている感情には勝てないと思うので、それを活かした職業が増えていけばAIに職を取られても大丈夫になるのではないかと思います。(1年女子)

・「AI vs. 教科書が読めない子どもたち」を読んで「3人に1人が簡単な文章が読めない」というところが印象に残った。高校生の半分以上が教科書の記述の意味が理解できていないのもびっくりした。今の時代、いつAIに仕事を取られてしまうかわからないので、読解力をのばしていけないといけないと思った。(2年女子)

・今、私たちが言う「AI」とは「AI技術」のことで本来の意味でのAIはまだこの世に存在しないということを初めて知った。また、10~20年後になくなる職業は事務系の仕事や決められたルールに従って作業する仕事で、逆に残る職業は柔軟な判断力や肉体労働などの“柔軟性”が必要な仕事であることがわかった。思考力、判断力を養うべきであると思った。(2年女子)

・AIが人間を超えるのではないかと、AIが発達したらそうなるのではないかと考えていました。また、私たちが普段から使っているAIという言葉は真のAIの意味と違っていることにも驚きました。AIが発達してもすべての仕事が失われるわけではない。これからの時代、AIに仕事を取られるのではなく、AIを駆使して、使われるのではなく、使っていかなければならないだろう。AIの発展を期待します。(2年男子)





・最近、進路決定について話す機会があった。将来 AI にとられる仕事はたくさんあると言われていたので、読みながらいろんな事がわかってよかった。特に第3部では、AI の弱点や教育との結びつきがおもしろかった。教科書が読める理解力を身に付けその力は今後も成長するという仮説を信じてみようと思った。(2年女子)

・最初、このテキストの題名を見たとき、“I-style で少し調べた！”と思いました。だから、自分が持っていた知識を再確認しながら、また、次に生かしていこうと思いながら読むことができ、より深く理解できたと思います。今まで AI に対して考えていたことを覆された部分もたくさんあって、その対応について考えさせられました。(2年女子)

・読解力についての実験にとっても興味を持った。また、AI にもできない仕事があるというのを読んで万能ではないということを知ることができた。AI は私たちにかわる活動ができるように日々進化している。私たちは AI と共存できるよう自分たちにしかできないことを自覚して、それを高めていくべきだと思った。(2年女子)

・AI が仕事を奪うということはなんとなく知っていたが、やはり読解力は大事だということを思い知らされた。読解力は大人になってからでも育てることができると書いていたので、もっと頑張ろうと思った。(2年男子)

・近い将来、アメリカの職業の約半数が消滅し、全雇用者の 47% が職を失う恐れがあると発表されていると知って、自分が今将来就きたい仕事は大丈夫なのだろうかと心配になりました。確かに AI が仕事を代わりにしてくれれば、早く正確な仕事ができますが、人と人とのかわりが少なくなるし、冷めた世界になってしまうのではと思います。(2年女子)

・今日では AI という言葉をよく耳にする。この本文を読んで驚いたことは、英語の序列問題で暑いのに「寒い」という意味を含む解答を選択していたことである。このように AI には「常識」というものが備わっていないものの、もし備われれば更に人間に近づくのではないかと不安に感じた。私たちも AI に負けないよう読解力を高め、多くの人とコミュニケーションを取っていくべきだと思う。(2年男子)

・AI のせいで人間の職業が減るということはよく聞く話でしたが、AI が人間を支配するということはなさそうで安心しました。でも、これからは AI に奪われる仕事もあるので、柔軟な考え方や AI にできないことをできるようにしていきたいと思いました。AI が大学に入れるまでの知能を持っていることや、3人に1人が簡単な文章を読めないのは驚きでした。読解力をつけるために本を読みたいと思いました。(2年女子)

